

A Study on the Securing of Safety and Sanitation in Bathing with Improved Comfort : With Particular Regard to Legionnaires' Disease

赤井, 仁志
Yurtec

<https://doi.org/10.15017/13531>

出版情報 : 九州大学, 2008, 博士 (芸術工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

謝 辞

本研究は、1994年から始めた文献調査とアンケート調査、2001年からの実態調査や実験等をまとめたものです。長期間に採った多くのデータや実験結果を本論文に仕上げるのにあたり、ご指導、ご鞭撻を賜った九州大学大学院 芸術工学研究院教授の栃原裕先生には、深く感謝申し上げます。

栃原先生とは、先生がまだ国立公衆衛生院 生理衛生学部 環境生理室長であった1996年から、(社)空気調和・衛生工学会の委員会でご一緒させていただきました。北は札幌市、南は北九州市までの全国各地で(社)空気調和・衛生工学会の本部と支部が開催した市民向け公開講演会で、ユニバーサルデザインの啓発活動を一緒にして歩きました。また栃原先生が主宰される入浴研究会を、仙台で開催させていただいたこともあります。

東京工業大学名誉教授で神奈川大学教授の紀谷文樹先生には、(財)ビル管理教育センターや(社)空気調和・衛生工学会の委員会、長期間にわたり報告書や論文作成時の添削をしていただくとともに、ご助力を与えて下さいました。第1章から第3章の多くの部分は、紀谷先生が調査や実験の機会を与えて下さった研究です。

東北文化学園大学教授の岡田誠之先生には、第4章のかなりの部分をご指導いただきました。投稿論文を完成するまで、はかどらない私を気長に待つて下さいました。岡田先生が東北文化学園大学に赴任されてから、密に指導を受けるようになりました。岡田先生が(社)空気調和・衛生工学会 給排水衛生設備委員会委員長を務められた時は、幹事に指名していただき、先生の下で委員会の運営と傘下の小委員会活動支援の補佐をさせてもらいました。

関東学院大学の野知啓子先生には、第5章の多くの部分で、ご指導を仰ぎました。野知先生には学部生時代の実験2科目で、実験方法やデータの解析、レポートのまとめかた等を教わりました。その時代から約30年経った今でも先

生と学生のような立場で、私の至らない部分に手を添えていただいております。

また東京大学名誉教授で神奈川大学教授の鎌田元康先生と首都大学東京大学院教授の市川憲良先生、関東学院大学教授の津田宏之先生と大塚雅之先生には、多くの場面でお世話になりました。

実務者では、(株)ユニ設備設計の小川正晃氏に、従業員のように可愛がっていただき、いろいろな調査に同行させていただく機会を与えてもらいました。

本論文の「第1章 2. 入浴施設でのレジオネラ症集団発生前後の法令、条例と行政の指導」は、遊佐町地域生活課の菅原善子氏に助言をもらいました。

「第3章 2. 現場での浴槽水中遊離残留塩素濃度測定方法の確立」は、東西化学産業(株)の中村克彦氏と工藤浩一氏、(株)同仁化学研究所の池上天氏、(財)ビル管理教育センターの高柳保氏の協力を得て仕上げました。

「第3章 3. 現場での浴槽水中二酸化塩素濃度測定方法の確立」は、(株)タクミナの浅見薫氏と阪中郁氏に支援してもらいました。

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)の竹田良子氏には、機会あるたびに、私の拙い英文を添削してもらいました。

施設での実測調査は、東北文化学園大学、関東学院大学と北海道大学の学生、院生の協力がなくては、なし得ませんでした。本研究は、これらの方々の援助で完遂したものであります。

また大学院受験と進学を薦めて下さった(株)ユアテック 上席執行役員電力本部副本部長の渡邊郁夫氏と、研究を温かく見守ってくださった同社 技術開発センター所長の吉田久雄氏には、深く感謝致しております。

最後に、大学院進学を理解して、陰ながら支援してくれた妻・淑子と長男・慧に、お礼を述べます。

多くの方々から支えられて、本論文は完成致しました。ありがとうございます御座いました。

2009年（平成21年）1月

赤井 仁志